



*1

Topics
Special
Interview

国際的にも活躍しているオーストラリアを代表する9組の作家たちによるグループ展『世界は歪んでいる。—Supernatural Artificial』。今回の展覧会を開催するにあたりゲストキュレーターであるナタリー・キング氏に展覧会のみどころなどを伺いました。

■ 今回の展覧会を開催するきっかけとなったオーストラリアのコンテンポラリーアートの現状について教えてください。

現在、オーストラリア政府はコンテンポラリーアートを世界中のさまざまな国で紹介することを推進しています。特に今回の展覧会を援助しているメルボルン大学内のアジアリンクという組織は、アジア諸国での国際交流の一部としてこれまでも多くの展覧会をアジアで開催してきました。

今回の展覧会は、技術、コンセプト共に躍進がめざましい写真や映像を用いたコンテンポラリーアーティストを紹介するものです。現在、さまざまなアーティストがテクノロジーや映像の手法を駆使した作品を制作していますが、加工すること自体よりも、作品のコンセプトにどのような効果を与えることができるかが重要視されています。例えばバット・ブラシントン^{*2}の作品のように、彼女自身を撮ったさまざまな画像にデジタル処理を加えることで、不思議な効果が現れ、表現に意味が生じ、私達を惹きつけるのです。今回ご紹介する作家はさまざまな技術を生かしながら「世界は歪んでいる。—Supernatural Artificial」という世界をつくり出しているのです。



*2

■ 「Supernatural Artificial」という風変わりなタイトルについて教えてください。

オーストラリアの美術は、19世紀以来、長年にわたり風景をテーマに描く伝統があります。風景は、土地の描写を通じて物語を語り継いでいるアボリジニのアーティストにとっては、特になくはないものなのです。自然を重要視する歴史がある一方で、アン・ザハルカ^{*5}とシェリーン・ファード^{*3}など、現代のオーストラリア人アーティストの中には、人工的な風景や、人間が自然に介入したつくりもの「Artificial」なものに関心を寄せている人たちもいます。『Supernatural』というタイトルは、人の力を越えた思いもかけない世界、魔術的で、霊的な世界を表しています。たとえば、トレイシー・モファット^{*表紙}は、幼いアボリジニの少女が危険な森で迷子になったり、野生の犬、ディンゴが魔法の下で吼えているおとぎ話のような作品をつくっています。



*3



*4

■ ダレン・シーヴェス^{*1}は、夜の風景とコロニアル風の建物の写真に、彼自身と女性が幽霊のような像で登場します。デイビッド・ヌーナンとサイモン・トレヴァックス^{*4}の作品はまるで空想科学小説やホラー映画のようです。森の中をさまよって歩く少女に何が起こったのか・・・？私達を神秘的な物語へと引き込んでゆくような映像作品です。いずれにしてもこれらの幻想的な作品は、私達の心理的な側面に訴えかけ、未知の世界へと誘うのです。

■ その他の作品のみどころは？

■ エライザ・ハッチソン^{P3*8}は、ヴェドゥーや呪術、シュルレアリスムの写真に影響を受けています。彼女は自分のスタジオで、いろいろな人々が逆さにぶら下がっているところを写真に撮りました。奇妙な膨れたポートレイトは少しユニークに感じられますが、同時にルネサンス時代の人物描写を彷彿とさせます。ダレン・シルベスター^{P3*7}は、まず小説や

■ 映画の脚本を書いてそれらをタイトルに凝縮してから、画像を作り出します。彼の作品は、かつて私達が持っていた近未来へのあこがれや、コンピュータ時代と言われる現代のコミュニケーションのあり方などについて考えさせてくれます。モニカ・ティカチェツク^{P3*6}はニューヨークの有名なトランスセクシャル・モデル、アマンダ・ルボルをテーマにつくられた究極の身体美を描いています。私達があたりまえのように感じていること、世界観のようなものに、不安で謎めいたこれらの作品が風穴を明けさまざまな価値観を見せてくれるでしょう。

■ 最後に日本の現代美術の印象をお聞かせください。

私は荒木経惟、やなぎみわ、森村泰昌の作品を見ましたが、特に荒木の東京の描写や、自らが主演に扮して有名絵画をユーモラスに作り変えた森村の作品などに注目しています。2002年、シドニーの現代美術館は、Neo-Tokyoと呼ばれる、現代日本美術の大規模な展覧会を開催しました。この展覧会にはやなぎみわに加え、奈良美智、中村政人、ヤノベケンジなどのアーティストが参加していました。私は、これらのアーティストたちは、日本独特の「カワイイ」という文化や、それに火をつけた「オタク」と言われる人々を捉えることで、現代の日本社会へ向けた大胆な提言をしたのだと思います。

(取材:2004年4月)



*5

ゆが
世界は歪んでいる。
Supernatural Artificial

*表紙 "Invocations #11" 2000年/Tracey Moffatt/
Collection Reg Richardson, Sydney/Courtesy of the artist and Roslyn Oxley9 Gallery, Sydney
*1 "Just is improoporshonately sow" 2003年/Darren Siwes/
Courtesy of the artist and Greenway Gallery, Adelaide
*2 "Twins" 2001年/Pat Brassington/Courtesy of the artist and Stills Gallery, Sydney
*3 "Alicia 2003 from A Woman Runs" 2003年/Cherine Fahd/
Collection Pat Corrigan, Sydney/Courtesy of the artist and Gilte Weise Gallery, Sydney
*4 "sowa" 2003-4年/David Noonan & Simon Trevaaks/
Courtesy of the artists and Uplords Gallery, Melbourne, Roslyn Oxley9 Gallery, Sydney and Foxy Production, New York
*5 "Mini-Golf, Lake Hume" 2001年/Anne Zahalka/
Courtesy of the artist and Roslyn Oxley9 Gallery, Sydney and Anna Schwartz Gallery, Melbourne

2F / 2階展示室
Exhibition Gallery

友の会 無料
三越カード 割引
アトレカード 割引

2004年7月17日(土)→8月29日(日)

ゆが 世界は歪んでいる。 Supernatural Artificial

詳細ホームページ <http://www.syabi.com/schedule.html>

○一般 600(480)円 ○学生 500(400)円
○中高生・65歳以上 300(240)円
()は20名以上の団体料金および上記カード会員割引
※小学生以下および障害をお持ちの方とその介護者は無料
※東京都写真美術館友の会会員は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料

○主催：東京都／東京都歴史文化財団／東京都写真美術館
朝日新聞社／メルボルン大学アジアリンク・センター
スーパーナチュラル・アーティフィシャル展実行委員会
ガートルード・コンテンポラリー・アート・スペース
○後援：オーストラリア大使館
○助成：豪日交流基金／国際交流基金 ほか



*6-Lineage of the Divine 9" 2002-4年/Monika Tichacek/
Courtesy of the artist and Karen Woodbury Gallery, Melbourne

この展覧会は、現在、国際的に活躍しているオーストラリアの作家を紹介し、その技術や表現、作家活動を通して写真、映像文化を広く普及し国際交流活動をはかるうとするものです。このプロジェクトはガートルード・コンテンポラリー・アート・スペースとメルボルン大学アジアリンク・センターが、東京都写真美術館と合同で企画し、オーストラリア・ジャパン美術展プログラムの一環として、アジアリンクと日豪財団が積極的に関わっているものです。「世界は歪んでいる。-Supernatural Artificial」と題された本展は、現在のオーストラリアを代表する9組の作家が、人間のさまざまな心理的要素を組み込んだ不思議な世界、違和感ある視覚を作り上げ、それぞれの物語を展開させます。画像加工技術に優れたオーストラリアの作家の表現は、新たな視覚表現の可能性を提示するとともに、いずれの作品も鑑賞者に新たな知覚や認識を呼び起こすことになるでしょう。



*7



*8

出品作家(予定)：

Pat Brassington (パット・ブラシントン) / Cherine Fahd (シェリーン・ファード)
Eliza Hutchison (エライザ・ハッチソン) / Tracey Moffatt (トレイシー・モファット)
David Noonan (デイビッド・ヌーナン) & Simon Trevaks (サイモン・トレヴァックス)
Darren Siwes (ダレン・シーヴェス) / Anne Zahalka (アン・ザハルカ) /
Darren Sylvester (ダレン・シルベスター) / Monika Tichacek (モニカ・ティカチェック)

*7 "Darren, You Got Us Into This, You Get Us Out" 2000年 / Darren Sylvester /
Courtesy of the artist and William Mora Galleries, Melbourne

*8 "The Entertainers" 2002年 / Eliza Hutchison

eyes

03

同時開催

2F・B1F / 2階展示室・地下1階映像展示室
Exhibition Gallery
Images & Technology Gallery

友の会 無料
三越カード 割引
アトレカード 割引

2004年5月22日(土)→7月11日(日)

奈良原一高 「時空の鏡:シンクロシティ」展 MIRROR OF SPACE AND TIME: SYNCHRONICITY

詳細ホームページ <http://www.syabi.com/schedule.html>

○一般 700(560)円 ○学生 600(480)円
○中高生・65歳以上 350(280)円
()は20名以上の団体料金および上記カード会員割引
※小学生以下および障害をお持ちの方とその介護者は無料
※東京都写真美術館友の会会員は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料

○主催：東京都／東京都写真美術館
○協賛：ニコン／ニコンカメラ販売／富士写真フイルム／
重森弘滝顕彰会
○協力：新潮社／凸版印刷／EPSON／
フォトギャラリー・インターナショナル／
フレームマン／サッポロビール

奈良原一高の日本初となる
回顧展いよいよ開催



↑「ジャパネスク・色 #1」"Japanesque, Iro #1" 1968年
© IKKO NARAHARA

1956年に軍艦島をテーマにした「人間の土地」で鮮烈なデビューを飾った奈良原一高。当時、早稲田大学大学院生だった氏の、人間を捉える鋭い視点は写真界に衝撃をもたらしました。その後、デビュー前の作品「無国籍地」を『ロココロール』誌に発表。'58年には閉ざされた環境を捉えた『王国』で更に注目を浴び、第2回日本写真批評家協会新人賞を受賞。その後、ヨーロッパ、ニューヨーク、東京と、次々に拠点を移しながら、『ヴェネチアの夜』、『ブロードウェイ』など今まで様々なテーマの写真を世に送り続け、世界的な写真家として高い評価を得ています。また、最近ではデジタル写真にも取り組み、『Heaven(天)』では更に独自の境地を開拓しました。今回、東京都写真美術館では今年で写真家生活50周年を迎える氏の日本初となる回顧展を開催いたします。当館が収蔵する名作に加え、60年代の貴重なファッション写真も初展示。50年代の日本に始まり、60年代のヨーロッパ、70年代のアメリカ、21世紀の東京と、時空を旅してきた奈良原の軌跡をいっしょに駆け抜けてみませんか？

Work
Shop

Meet the Artist! 『奈良原一高 時空の鏡:シンクロシティ』作家によるギャラリートーク



「インディアン村の2つのごみ箱」
"Two Garbage Cans,
Native American Village"
1972年

日程：[Aコース]6月12日(土) / [Bコース]7月3日(土)
各コース14:00~16:00

定員：各コースとも30名(中学生以上)

参加費：一般700円・高校生以下350円(観覧会鑑賞券付き)

締切：[Aコース]6月2日(水) / [Bコース]6月23日(水) 必着

※事前申込制。申し込み方法など詳しくはホームページをご覧ください。

04

eyes

3F / 3階展示室
Exhibition Gallery

- 友の会
割引
- 三越カード
割引
- アトレカード
割引

2004年6月8日(火)→8月1日(日)

世界報道写真展
WORLD PRESS PHOTO 2004

詳細ホームページ <http://www.syabi.com/schedule.html>

- 一般 700 (560) 円 ○学生 600 (480) 円
- 中高生・65歳以上 400 (320) 円
- ()は20名以上の団体および東京都写真美術館友の会、上記カード会員割引料金
- ※小学生以下および障害をお持ちの方とその介護者は無料
- ※第3水曜日は65歳以上無料

- 主催：朝日新聞社/世界報道写真財団
- 共催：東京都写真美術館
- 後援：オランダ大使館/社団法人日本写真協会/社団法人日本写真家協会
- 協賛：キヤノン株式会社/キヤノン販売株式会社/TNT

2004年度世界報道写真大賞



4歳の息子を抱きしめるイラク人男性＝03年3月31日、ナジャフ近郊の戦争捕虜収容所で撮影＝ジャンマルク・ブジュ

世界報道写真展は、オランダに本部をおく世界報道写真財団が、毎年世界中のカメラマンを対象に開く報道写真コンテストの入賞作品を集めた写真展です。1955年に設立された同財団は、報道写真の重要性と報道の自由を広げることを目的に、活動を続けています。今年で47回目となるこのコンテストは、「スポットニュース」「一般ニュース」「スポーツアクション」「ポートレート」「自然」など10の部門に分かれ、昨年1年間に取材された報道写真の中から優秀作品が選ばれます。今年度は124カ国4,176人のカメラマンが応募し、集まった作品数は6万点を超えました。

2004年度の最優秀作品である世界報道写真大賞には、AP通信のフランス人カメラマン、ジャンマルク・ブジュ氏が、イラク戦争中の03年3月、ナジャフ近郊の戦争捕虜収容所で共に逮捕された4歳の息子を抱きしめるイラク人男性を撮影した写真が選ばれました。またスポットニュースの単写真の部では、ポストン・ヘラルド紙の高橋邦典氏が3位に入賞しています。入賞作品約200点は世界約80都市を巡回、日本では今年、当美術館を皮切りに、全国4会場で開催されます。

○お問い合わせ：朝日新聞社文化事業部
「世界報道写真展」係 03-5540-7450

3F / 3階展示室
Exhibition Gallery

- 友の会
割引
- 三越カード
割引
- アトレカード
割引

2004年8月28日(土)→10月3日(日)

ウィリアム・クライン
『PARIS + KLEIN』展

William Klein Photo Exhibition and Film Screening

詳細ホームページ <http://www.syabi.com/schedule.html>

- 一般 800 (640) 円 ○学生 700 (560) 円
- 中高生・65歳以上 600 (480) 円
- ()は20名以上の団体および東京都写真美術館友の会、上記カード会員割引料金
- ※小学生以下および障害をお持ちの方とその介護者は無料
- ※第3水曜日は65歳以上無料

○主催：東京都写真美術館/朝日新聞社



EXISTENCE 1995年 © William Klein

1928年、ニューヨークに生まれたウィリアム・クラインはアメリカ陸軍に入隊した後、ソルボンヌ大学で文学を修め、絵画を学びながら独学で写真を始めました。'55年『ヴォーグ』(VOGUE)誌のグラフィックデザイナーとなった彼は、ファッション写真家へと転向。翌年、発表した写真集『ニューヨーク』はクラインの代表作となりました。以後、独特の〈ブレ・ボケ・アレ〉を多用したスタイルで数々の作品を発表。一方では『ブロードウェイパイライト』など映画制作にも意欲を燃やし、SFやパブリコレなどを舞台にした作品を描きました。現在76歳になるクラインは、精力的に活動を続け、'02年には都市シリーズの新作『パリ』を発表し、高い評価を得ています。本展ではパリのヨーロッパ美術館で開催された同展の日本初の巡回展となり、新作の大型作品75点と併せて代表的な映画作品「イン&アウト・オブ・ファッション」(1993年)などを上映いたします。

展覧会関連：
上映会、オープンレクチャー、ワークショップ 他
開催予定。※詳細はeyes 43号にてお知らせします。

2・3F

Exhibition Gallery

2・3階展示室
同時開催

マリオ・テストィノ：ポートレート展

2004年10月16日(土)→11月21日(日)

「ファッション写真界の貴公子」と呼ばれ、世界で最も注目されるフォトグラファー、マリオ・テストィノは各界の著名人からポートレイトの撮影に指名されることでも知られています。とりわけ、事故で亡くなる前に撮影されたダイアナ元妃のリラックスしたプライベート写真は高い評価を受けています。本展ではテストィノが撮ったセレブたちのポートレイト作品を集め、展示いたします。ロンドン開催時には40日間で観客動員数16万8千人と、連日大盛況となった話題の展覧会を是非、ご覧下さい。

○主催：東京都写真美術館
朝日新聞社



“夢がとぶ” 2002年 / © 藤城清治 ※この作品は敬宮愛子様の誕生を祝って皇太子妃・雅子様へ献上した作品です。

昇る朝日に目覚めたことは、
宙に浮かぶ1本の大きな爪の上で、
ワサキとリスが回すなわとびを元気よく飛び歌ねる。
未来への夢を託された希望の誕生に喜ぶ動物たち。

PROFILE

藤城清治 / 1924年東京生まれ

1947年慶応大学を卒業。48年、花森安治氏に認められ「暮しの手帖」に影絵の連載を始める。NHKテレビ放送開始とともに、テレビに影絵の新しいジャンルを拓く。66年、テレビ「木馬座アワー」のキャラクターに“ケロヨン”を創作、大人気となる。その光と影が織りなす美しい影絵の世界でテレビ、CM、その他様々に活躍。

82年、外務省派遣文化親善使節として、中東各地で、影絵劇「義経物語」他を上演。文化庁芸術祭で影絵劇「銀河鉄道の夜」他が優秀賞を受賞。83年、影絵の絵本「銀河鉄道の夜」が、BIB国際絵本原画展で金のリンゴ賞を受賞。89年、紫綬褒章を受賞。95年、勲四等旭日小綬章を受賞。現在も国内外で、影絵劇上演をはじめ、個展開催、絵本の出版など、多方面に精力的活動を続けている日本を代表する世界的影絵作家のひとりである。

B1F/ 地下1階映像展示室
Image & Technology Gallery

友の会
割引

三越カード
割引

アレカド
割引

2004年7月17日(土)→9月5日(日)

**藤城清治の世界
光と影のシンフォニー**

詳細ホームページ <http://www.syabi.com/schedule.html>

○一般 1,200 (1,000)円 ○学生 800 (700)円
○小中高生・65歳以上 600 (500)円
()は20名以上の団体、東京都写真美術館友の会、上記カード会員割引料金
※障害をお持ちの方とその介護者は無料
※第3水曜日は65歳以上無料

○主催：読売新聞社/美術館連絡協議会
○協賛：花王株式会社 他

藤城清治の集大成となる本格的な展覧会の開催



1	2
	3

1. "夏・魚しました" 1990年
2. "平和のとり" 2003年
3. "月輪に向かって" 2002年
©藤城清治

光と影で表現する絵画「影絵」。その影絵を芸術として広く浸透させた作家・藤城清治。カルピスのマークやテレビの天気予報で使われた影絵の作者といえば、思い当たる人も多いでしょう。

1924年、東京に生まれた藤城は、慶応義塾大学在学中に見たジャワ島の影絵人形劇に魅せられ、影絵の制作を開始。画家・猪熊弦一郎に師事していた経験が、黒を生かしたモダンな作風につながったといわれています。以後、およそ半世紀にわたり、影絵の制作と影絵劇の制作・演出を続けてきた氏の作品では、40年間続いた雑誌「暮らしの手帖」での影絵の連載など、いまま

私たちの記憶に印象深く残るものばかり。童話の世界や郷愁を誘う風俗、景色を幻想的な色彩のシルエットなどが高く評価され、89年には紫綬褒章、95年には勲四等を受章しています。

本展では、作家本人の所蔵品を中心に、戦後間もない頃のモノクロ作品から最新作までの作品を選りすぐり、約100点を展示。どこか懐かしく、それでいて新鮮な気持ちを引き起こす藤城清治が作る影絵の世界へのご案内いたします。

◎お問い合わせ：読売新聞社事務局文化事業部
03-5159-5874

eyes

| 09 |

3F/ 3階展示室
Exhibition Gallery

友の会
割引

三越カード
割引

アレカド
割引

2004年5月15日(土)→6月3日(日)

東京写真月間2004

—THE MONTH of PHOTOGRAPH, TOKYO 2004—

明日のために 日本のドキュメンタリー写真家
JAPANESE DOCUMENTARY PHOTOGRAPHER:
The 1960s to the Present

詳細ホームページ <http://www.syabi.com/schedule.html>

○ **入場無料**

○主催：「東京写真月間2004」実行委員会
社団法人日本写真協会/東京都写真美術館
○後援：外務省/文化庁/東京都/
 Bangladesh People's Republic of Bangladesh
○助成：日本芸術文化振興基金/
 独立行政法人国際交流基金



◎三留理男

日々、報道される世界各地で起こる様々な出来事。このなかには、戦争や紛争で家族や財産を失い、惨禍に苦しむ人々や、地球環境の悪化で貧困、飢餓にあえぐ民衆、エイズをはじめとする病魔と戦う人々、偏見や差別を乗り越えて力強く生きる人などの姿があります。こうした私たちの身の回りで起こっている事実を、人間的なまなざしで淡々と捉え、伝えることに日夜取り組んでいる写真家たち。本展では1960年代から今日まで、世界各地で精力的に活動している14名の写真家の作品を展示。62年代半ばベトナム戦争中の『韓国』から『ハンセン病回復者』までの貴重な作品をふりかえりつつ、現在から未来に向けての展望を切り拓こうとするものです。“人間の尊厳”について使命感を持ち、活動している写真家らの作品を通じ、いま、私たちにできることは何かを考えてみましょう。

◎お問い合わせ：社団法人日本写真協会
03-5276-3585

3F

Exhibition Gallery

入場無料

○主催：日本写真作家協会
○協力：東京都写真美術館

第15回JPA展・日本写真作家協会展

2004年8月7日(土)→8月22日(日)

今年で15回目の節目を迎え、会員展には過去最高の271名の会員が出展することになりました。また、第2回目となる公募展には全国から1,800点以上の応募が集まりました。その中から入賞・入選作品約100点を展示いたします。

◎お問い合わせ：日本写真作家協会 TEL.03-3535-6251/HP.www.jpaphot.com/

| 10 |

eyes

Museum Shop NADiff × 10

「ナディッフ バイテン」



NEW OPEN ミュージアムショップがリニューアルオープン。

1階ミュージアムショップが「NADiff」がプロデュースする「NADiff × 10」(ナディッフ バイテン)として新しく生まれ変わりました。同時にリニューアルを迎えたカフェとの仕切り壁を取り外し、より開放的なショップになりました。ご来店の際は是非、お立ち寄りください。

大好評のトイカメラに加え、海外の写真・アート関連グッズ、イムズのフリックブックなど新アイテムも登場。また、和書、洋書に加え、新たに古書も充実し、20～70年代の貴重な写真集を取り揃えました。



Museum Shop Pickup

これまでネットでしか手に入らなかった
佐内正史「Chair Album」¥13,650(税込)

- ◎お問い合わせ:「ナディッフ バイテン」/直通03-3280-3279
- ◎新商品や入荷情報などはホームページでもご紹介しています
<http://www.syabi.com/shop/shop.htm>

chambre claire Cafe

「シャンブル クレール〜明るい部屋〜」

NEW OPEN 1階と2階エントランスホールにカフェ「chambre claire」ニューオープン。

ベルギービールで有名なあの「BRUSSELS」のプロデュースでカフェがニューオープン。ベルギー直輸入ビールなどのほか、軽食やおつまみもご用意しております。自家製の「モッツアレラチーズの味噌漬け」は、こってりとした味わいでお酒にもコーヒーにもぴったり。甘党のかたには「ベルギー風アイスクリーム(税込450円)」がオススメです。2階エントランスに増設されたカフェは吹き抜けの天井まで続くガラス窓で解放感溢れる空間でゆったりと過ごすことができます。ご観覧の休憩や待ち合わせなど、お気軽にご利用ください。

Cafe Pickup



- ・チーズケーキ ¥450
- ・味噌漬けモッツアレラ ¥450

◎お問い合わせ:カフェ「シャンブル クレール」/直通03-5798-2218



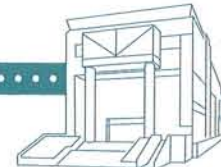
chambre claire

※本誌掲載ページに掲載されている観覧料および商品の価格は、原則的に消費税込みの価格です。

eyes

11

10th Anniversary



東京都写真美術館は、来年1月に開館10周年を迎えます。

これまでに2万点を超える写真や映像の収蔵作品や約5万4千点の蔵書を誇り、写真・映像に関する総合的な美術館として年間を通じてさまざまな展覧会を開催してきました。そこで、本誌では『ZoomUp!写美』と題して今回から4回にわたり、写真美術館を支えてきた各分野の一面をご紹介します。

ZoomUp! 写美Vol.1 保存科学研究室 Image Permanence Laboratory

第一回は美術館の要的な役割を果たす保存科学研究室です。当館には3つの収蔵庫がありますが、その調整や写真の保存・修復などを行うのが保存科学研究室です。今回は実際に、どのようにして、保存や修復が行われているのか劣化作品の復元処理の例を挙げてご紹介します。



アジャンの風景、木と水の流れ
1877年/ルイ・デュコ・デュ・オーロン

左の作品は、1877年にフランスの写画家、デュ・オーロンが残した世界最古のカラー作品です。大変貴重な作品ですが収蔵されたときに右下部分が4×5mmほど剥れていたので、破片をゼラチン溶液で接着しました。補修作業に用いた接着材料は作品の成分によって異なります。また、表面に浮いた部分もありましたので、そこも接着して沈めました。ほかには、額縁の補修や台紙、保存箱の交換など作品の環境を整えることも行っています。写真は絵画などと比べて、保存する素材によって化学反応を起こしやすい特徴があります。例えば、銀板写真の保護に使われている古いガラスは劣化すると液状のアルカリが出てきて作品が汚れてしまいます。また、かつて使われていた

輸入保存箱の、のりも化学反応を起こす物質を含んでいたことが分かり、写真に影響のないガラスや箱への交換を行っています。温度や湿度の状態も重要。白黒写真、カラー写真、映像フィルムなど作品によって保存に適した温度や湿度の調節も行います。当館では20度、10度、5度と、収蔵される作品に応じた設定温度と湿度(45～50%)で24時間空調管理されています。次世代に感動を伝える作品の数々。それらの状態を保ち続けることも美術館の重要な役割なのです。



作品の一部が剥れています
剥れや浮きをゼラチン溶液で貼りつけます
きれいに修復できました

予告 公募展 わたしたちの パワー・オブ・ピクチャー 作品募集!

東京都写真美術館では11月27日より開催する「パワー・オブ・ピクチャー」展に関連し、小学校・中学校・高等学校を対象にした公募展「わたしたちのパワー・オブ・ピクチャー」の作品を募集します。今回の公募展は複数のグループ(クラスやクラブ、学校別)を対象として“社会にアピールしたい学校生活のドキュメンタリー写真”というテーマから作品を募集する予定です。いまの学校の現実を、写真を通じて社会に見せることで、見る人の心や、社会が動く「写真のチカラ」を感じてください。
※詳細は6月以降当館ホームページに掲載します。

◎お問い合わせ:東京都写真美術館 TEL.03-3280-0033/ホームページ<http://www.syabi.com>

2F 2004年11月27日(土) → 2005年1月16日(日) パワー・オブ・ピクチャー ~アメリカを変革した写真(仮題)~

19世紀後半から20世紀前半のアメリカでは、不安定な社会状況を良くするために数多くのドキュメンタリー写真が用いられました。様々な社会問題を写真に捉え、それを社会に広く発表することは、多くの人々に現実を突きつけ、ついには社会革命をおこすチカラとなったのです。また、それらの写真は単なる記録にとどまらず、芸術性の高い作品が数多くありました。この展覧会ではそれらの作品を紹介し、「写真の力が変えた社会」について考察します。

12

eyes

東京都写真美術館で観る映画シリーズ

当館では「写真美術館で観る映画シリーズ」と題し、選りすぐりの作品を上映しています。
美しい映像と心にしみる感動をお楽しみください。



シリーズ
Vol.10

少女ヘジャル Hejar / Büyük adam küçük aşk



■2001年/トルコ/120分
■制作・監督・脚本：ハンダン・イベクチ
■出演：ディラン・エルチェティン ほか
■配給・宣伝：アニープラネット
■協力：レゾナント・コミュニケーション

■詳細ホームページ <http://www.annieplanet.co.jp/hejar/>
◎お問い合わせ：アニープラネット/03-3549-1266

トルコ国内でのクルド問題に一石を投じた問題作

5歳のクルド人少女ヘジャルは、両親を失い、イスタンブールの親戚に預けられました。そのアパートが警察に襲撃され、一家が殺害されるのを目の前で見てしまったヘジャルは、戸棚に隠れて難を逃れ、同じアパートに住む元判事のルファトに助けられます。クルド人を嫌い、クルド語を話すのを禁じた元判事と、頑固なヘジャルとの間に、やがて愛情と理解が芽生え…。トルコではクルド語を使ったとして上映禁止になり、後に再上映が許可。アカデミー賞外国語映画賞トルコ代表作品であり、同国内外で21の賞を受賞した話題作。アジアフォーカス・福岡映画祭2003、東京国際女性映画祭でも多くの観客の目を熱くしました。クルド人の悲劇を描いた感動作を是非、ご覧下さい。

- 上映スケジュール：6月12日(土)～7月16日(金)
- 休映日：月曜日(祝日の場合は翌日)
- 上映時間：10:30/13:10/15:50/18:30
- 料金：一般 1,800円(一般のみ前売 1,500円)
学生 1,500円 中学生以下・60歳以上 1,000円



夏休み
特別上映

ワー!マイキー 2004

■2004年/日本 ■監督：石橋義正
■詳細ホームページ <http://www.vpn-tv.net/>
◎お問い合わせ：エス・エス・エム/03-3582-5359

大好評のマネキン一家が今年もやってきます。

東京都写真美術館、夏の恒例となった人気TVシリーズ「オー!マイキー!」の劇場用特別編「ワー!マイキー!」。今年もマイキー少年をはじめとするアーコン・ファミリーがシュールでオシャレなコメディを繰り広げます。

- 上映スケジュール：7月17日(土)～8月27日(金)
- 休映日：月曜日(祝日の場合は翌日)
- 上映時間：詳細はお尋ねください
- 料金：一般(高校生以上) 1,200円(前売1,000円)
中学生以下・60歳以上800円(前売700円)

維持会員 Membership

東京都写真美術館の活動をご支援いただくため、次の企業・団体に維持会員としてご入会いただきました。

※詳しくはHPをご覧ください。 <http://www.syabi.com/Membership.html>

<p>●特別維持会員</p> <ul style="list-style-type: none"> キヤノン株式会社 株式会社資生堂 東京電力株式会社 凸版印刷株式会社 株式会社リコー 株式会社アサツー ディ・ケイ 朝日新聞社 アサヒビール株式会社 朝日放送株式会社 味の素株式会社 アップルコンピュータ株式会社 株式会社イトーヨーカ堂 株式会社NHKエンタープライズ21 NTTコミュニケーションズ株式会社 株式会社NTTドコモ 株式会社大林組 オリンパス株式会社 株式会社オンワード樺山 カシオ計算機株式会社 鹿島建設株式会社 株式会社角川書店 カトーレック株式会社 カルビス株式会社 キッコーマン株式会社 キヤノン販売株式会社 共同印刷株式会社 	<p>●維持会員</p> <ul style="list-style-type: none"> 社団法人共同通信社 協和発酵工業株式会社 キリンビール株式会社 株式会社講談社 株式会社コーセー コダック株式会社 株式会社ザ・アール サッポロビール株式会社 サントリー株式会社 ジェイティービー印刷株式会社 清水建設株式会社 株式会社写真弘社 シャネル株式会社 株式会社集英社 株式会社主婦と生活社 株式会社小学館 松竹株式会社 セイコー株式会社 セイコーエプソン株式会社 セントラル警備保障株式会社 ソニー株式会社 第一建築サービス株式会社 大成建設株式会社 大日本印刷株式会社 株式会社タムロン 中外製薬株式会社 株式会社竹中工務店 株式会社テレビ東京 	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社電通 東亜建設工業株式会社 東海旅客鉄道株式会社 東京ガス株式会社 東京急行電鉄株式会社 東京工芸大学 東京総合写真専門学校 株式会社東京ドーム 株式会社東芝 株式会社東北新社 株式会社徳間書店 図書印刷株式会社 戸田建設株式会社 トヨタ自動車株式会社 株式会社ニコン 日産自動車株式会社 日本アイ・ピー・エム株式会社 日本オラル株式会社 日本興亜損害保険株式会社 社団法人日本広告写真家協会 日本写真芸術専門学校 日本写真作家協会 社団法人日本写真文化協会 日本信販株式会社 日本大学芸術学部 日本テレビ放送網株式会社 日本ハム株式会社 日本ビルサービス株式会社 	<ul style="list-style-type: none"> 日本放送協会 日本油脂株式会社 日本リーバ株式会社 株式会社博報堂 びあ株式会社 東日本旅客鉄道株式会社 株式会社ファーストリテイリング 富士重工業株式会社(スバル) 富士ゼロックス株式会社 株式会社フジテレビジョン 株式会社ブリヂストン 株式会社プリンスホテル 株式会社フレームマン 株式会社ベネッセコーポレーション ペンタックス株式会社 株式会社ホテルオークラ 株式会社堀内カラー 本田技研工業株式会社 毎日新聞社 株式会社マガジンハウス 丸善株式会社 三井倉庫株式会社 森ビル株式会社 モンブランジャパン株式会社 横河電機株式会社 読売新聞社 ライオン株式会社 株式会社ワコール
---	---	---	---

(平成16年4月現在・五十音順)

友の会 Supporter

東京都写真美術館では、随時新規会員の募集をしています。展覧会のご招待・割引、上映映画の割引、写真美術館ニュースeyesの送付をはじめ、たくさんの特典をご用意している他、関連施設での割引もごぞいます。開館時間中(10:00～18:00)に当館1階チケットカウンター横「友の会カウンター」にてご入会いただけます。皆さまのご入会を心よりお待ちしております。

年会費	
個人会員	2,000円
家族会員同伴者1名まで	3,000円
シルバー会員(65歳以上の方)	1,000円

○受付は当館1階チケットカウンター横の「友の会カウンター」のみとなっております。
○会員証の有効期限は、翌年の同月末日までです。
※詳細は当美術館までお問い合わせください。
TEL:03-3280-0099

友の会特典	特典内容
収蔵展・映像展	無料 ※会期中は何度でもご覧いただけます ※家族会員の方は、同伴者1名まで無料
共催展・企画展	割引 ※御利用いただけない場合もございます
ミュージアムショップ	5%引き ※一部商品は除きます
カフェ	ブレンドコーヒー、ダーズリン紅茶を200円引き ※詳細はお尋ねください
その他	○写美NEWS「eyes」送付 ○1階ホール(実験劇場)の割引 ○ナディア本店(表参道)で輸入商品1,000円以上のお買上につき5%割引(除外品あり) ○ロス渋谷店で1,000円以上のお買上につき5%割引(洋書・洋雑誌)など